

# 朝日 健太郎



## 国政レポート Vol.2

[討議資料]

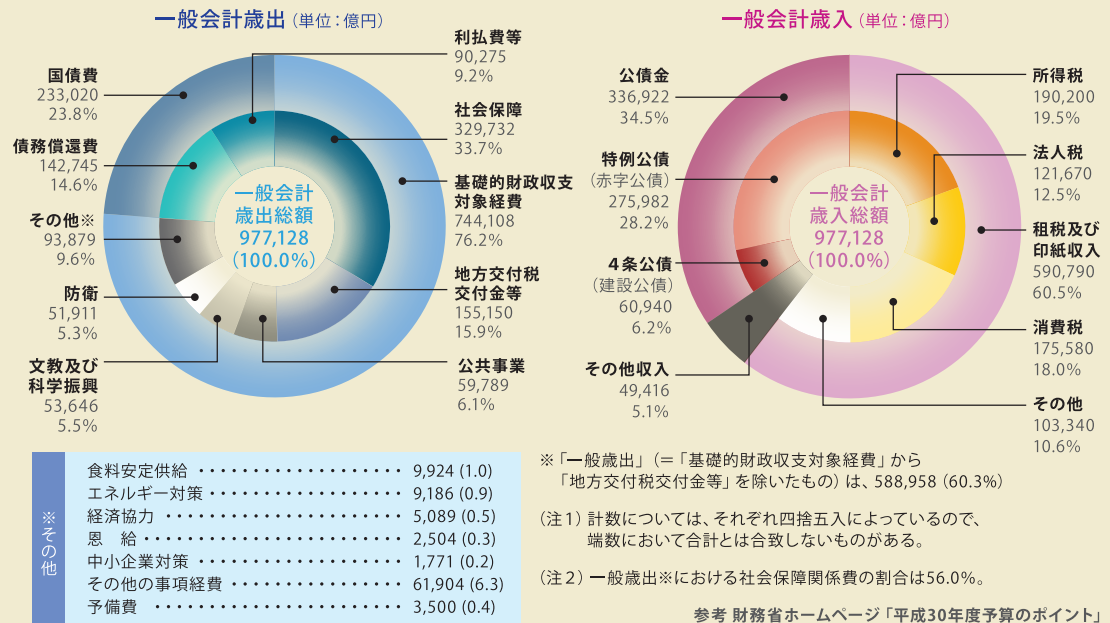
一般会計総額 97兆7128億円の過去最大となる、平成30年度予算が成立しました。参議院での審議は54時間52分と例年より短いものとなりましたが、野党と真摯に向き合い、国民生活に支障のないよう年度内での成立ができましたことに安堵しています。平成30年度総予算は、人生100年時代を見据え、社会保障制度を整備し人への投資を拡充する「人づくり革命」、デフレ脱却をめざし生産性向上のための施策を推進する「生産性革命」、国債発行額を縮減しプライマリーバランスを改善する「財政健全化」を柱に、経済再生と財政健全化を両立する予算となるのがポイントです。

その内、スポーツ関係予算は約400億円で、トップアスリートの育成強化、スポーツを通じた地域活性化、2019ラグビーワールドカップ、2020東京大会への予算配分などが主な柱となります。特にナショナルトレーニングセンターの拡充に係る予算は平成29年度の36億4023万円に対し平成30年度は66億9605万円に増額され、選手強化の拠点として整備されると共にオリンピック・パラリンピック各競技の共同利用化も図ることとなります。また、問題となっているドーピング防止活動推進事業費については、平成29年度は1億104万円だったのに対し平成30年度は2億6000万円へと倍増され、選手のドーピング防止に関する教育・研修及び研究活動に十分な予算が充てられます。2019ラグビーワールドカップ大会、2020東京大会に向けてドーピング検査員の新規資格取得者の増加や国際競技大会に対応できる検査員の育成に取り組むことが可能となります。

税制についても平成30年度で大きく改正されます。主な変更点として、給与所得控除、公的年金等控除などの個人所得控除の見直しがあり、年収850万円以上の方は負担増になります。中小企業に対しては、3年間の時限的な投資集中期間として設備投資に対する固定資産税の優遇措置、小規模事業者に対しては事業承継税制の改正によって手厚いサポートがなされます。また、たばこの1本あたり3円の増税、平成31年から出国税といわれる国際観光旅客税が新設され急増するインバウンド対策に活用されます。

本年度の予算では「次世代への責任」という観点から財政健全化の方針のもと、経済再生を目指します。

### 平成30年度一般会計歳出・歳入の構成





## 前年度成立した**主な法案**

天皇陛下の一代限りの退位を可能とする「**天皇退位皇室典範特例法**」は、静謐かつ丁寧な議論がなされ、短期間のうちに成立しました。テロ等準備罪を新設する「**組織犯罪処罰法**」については、野党からの反発を受けましたが、丁寧な運営と審査を重ねた結果、法案を可決することができました。この法案で、国会議員になって初めての徹夜国会を経験しました。

その他には、現役並み所得を有する高齢者の自己負担を引き上げる「**介護保険法**」、性犯罪を厳罰化する「**刑法**」、債権規定を見直す「**民法**」、配偶者控除の年収上限を引き上げる「**所得税法**」、経済的就学困難者に給付型奨学金を支給する「**日本学生支援機構法**」、農産物流の合理化を図る「**農業競争力強化支援法**」、民泊のルールを定める「**住宅宿泊事業法(民泊新法)**」等、国民生活に直結する様々な法案が可決されました。

## タバコフリーへ**一歩前進**

事業者を受動喫煙対策を義務づける健康増進法改正(いわゆる受動喫煙防止法)は、タバコフリー社会の実現に向けて、特に2020東京大会への喫緊の課題であります。IOC(国際オリンピック委員会)やWHO(世界保健機構)はオリンピック開催国に対して「たばこのない五輪」を求めており、世界の潮流に乗り遅れてはいけないものと考えています。

本年3月9日に政府案(右図)が閣議決定され、今後、国会で審議されることになります。今改正案は、健康増進・長寿社会を目指す私としては決して満足がいくものではありませんが、受動喫煙を根絶させるための一歩として大きな前進があったと思います。

受動喫煙対策	
医療機関	
小中学校	屋内全面禁煙 (屋外の喫煙所は可)
大学	
官公庁	
職場事務所 ホテル (客室除く)	屋内原則禁煙 (喫煙所は可)
	【新規・大手の 客席100㎡超】 屋内原則禁煙 (加熱式は分煙可・ 紙巻は喫煙所のみ)
飲食店	【資本金5千万円以下、 100㎡以下の既存店】 喫煙可 ※喫煙場所以示義務、 20歳未満の立ち入り禁止
施行日	2020年4月1日

# 2020 東京大会 休日化に向けて

2020東京五輪大会推進議員連盟に設けられた超党派の「休日化・関連課題検討プロジェクトチーム」の事務局長を拝命しました。これは、2020年7月24日に開催される東京五輪の開会式当日と前日を休日化するもので、選手・関係者やVIP、そして観客などが一斉に移動することによる物流・輸送の混乱の緩和を計ろうとするものです。

日本は世界でも有数の祝日大国で、新たな休日を設けることは難しい状況です。大会のスムーズな運営ができるよう、今後も粘り強く取り組んで参ります。



## 参・国民生活調査会で**質問**

参議院にのみ設置されている国民生活調査会において子どもをめぐる格差への取り組みについて質問をしました。民間支援団体の参考人より意見聴取し、6人に1人が貧困とされる今の日本の実情、実態についてヒアリングもしました。一人親世帯の収入格差による教育機会の不平等、女性にとって厳しい就労事情による貧困問題など、社会の実態をより正確に把握することで、国会での議論に繋げて参ります。



## 離島振興・神津島**視察**



島しょ部の持つ特有の課題を直視できたことが何より大きな収穫で、港の整備が地域経済に直結し、その活力が地域の魅力となり新たな観光産業へ循環していくモデルは大変参考になりました。地域の成長にとって大切なことは、様々な分野において横断的な取り組みを行うこと、そして常に新しいチャレンジをしていくことです。新たな取り組みに挑んでいる情熱ある神津島を、今後も精いっぱい応援していきます。



# LGBTの理解を深めるために

2020年東京大会を契機に、SOGIハラ(性自認などに起因した差別等)のない社会を目指し、LGBTに関する法制化に取り組んでいます。様々な人が並んで暮らしお互いが責任ある自由を享受できる国であるために。



## 衆議院総選挙で奔走

平成29年10月22日に行われた第48回衆議院議員総選挙では、皆様から力強いご支援を賜り、我が党は再び過半数を超える284の議席をお預かりすることができました。期間中は決して順風なものではありませんでしたが、政治の安定と経済の再生や日本の安全確保できちんと結果を出して欲しいという有権者の切実な願いは、私も仲間の応援活動の中で実感しました。



第48回衆議院議員総選挙

我が党は、直面する少子高齢社会への早急な対応を含め、多様な民意に目を向け、常に謙虚に、国民のための政治を進めていかなければなりません。「経済の再生」と「この国を、守り抜く。」我々の原点に立ち返り、私も政策を実現する仲間と一緒に国民の負託に答えて参りたいと思います。



## 二八会の同期当選とともに

誰もが安心して暮らしやすい国づくりを!

平成28年7月に初当選してから約2年が経ちます。16人の同期当選(二八会)の皆さんと共に絆を深め、誰もが安心して暮らしやすい国づくりに今後も取り組んで参ります!



4時間49分で完走!

## 東京マラソンを振り返って

平成30年2月25日、東京マラソン4時間49分で完走!熟練されたボランティアスタッフによる的確かつスムーズな対応は、ランナーの力を最大限に引き出してくれました。海外からも多くのランナーが参加した東京マラソンでのオペレーションは、2020東京オリンピック・パラリンピックでも必ず活けると確信しました。

## ウォータースポーツ振興議員連盟発足

河川や湖などの水域を活用して開催されるウォータースポーツ競技の環境整備を図り、競技力向上や普及をしていくために当議員連盟は発足しました。設立総会には15団体が参加し、水域の新たな価値創造を目指します。





## こどもたちへ体験型の講演

こどもたちに実際にプレーを見せることでスポーツの迫力を、また2020東京オリンピック・パラリンピックは海外の人達とつながるきっかけになることを伝えています。2020年にはぜひ海外の選手達と直接交流してほしいと思います。



## バレーボールミーティング

東京都内のバレーボールチームの練習に参加し、一緒に汗を流しながらママさんやPTAのみなさんの日頃抱える問題を伺っています。みなさんの直接の声を国政に反映させます！ご希望のチームは下記事務所までご連絡ください！



練習におじゃまします！

## 「あさひ会」いよいよキックオフ！

平成29年11月20日に後援会組織「あさひ会」が発足しました。キックオフパーティーでは、法政大学の先輩でもある菅官房長官はじめ多くの方々でご来場くださり激励をいただきました。決意を新たにこれからも一層頑張らせて参ります。



「あさひ会」発足！



## 講演活動

各種団体や大学生を対象に2020東京大会で日本は世界に何を伝えるべきかを講演。パラリンピックは、高齢化社会対策に大いに役立つことや、そのレガシーを残すことの大切さを共感してもらいました。



## 国会見学をしてみよう！

こどもの頃に国会見学したけどもう一度見てみたいという方、一度も国会見学をしたことのない方、とにかく国会に興味のある方、朝日事務所が国会を楽しくご案内します。

ご希望の方は下記事務所までご連絡ください。

## 朝日 健太郎 プロフィール

- 1975年 熊本県生まれ。法政大学卒。
- 鎮西高校在学中にバレーボール日本代表に招集。
- 2002年 ビーチバレーボールに転向。2008年北京五輪・2012年ロンドン五輪に出場し、日本男子史上初の勝利を挙げる。
- 競技引退後、NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長に就任し、日本の砂浜海岸やビーチ文化の啓発に取り組む。
- 早稲田大学大学院にて学び、スポーツ産業の育成を通じた経済発展への問題意識を得る。
- 2016年 参議院東京選挙区にて初当選。

【現在】

- 参議院予算委員会委員 参議院国土交通委員会委員
- 自民党国土交通部会副会長 自民党青年局次長 自民党スポーツ立国調査会幹事
- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部事務局次長 港湾議員連盟 トラック輸送振興議員連盟
- 日本バレーボール協会理事

平成30年4月現在

## 朝日健太郎 後援会・入会のご案内

朝日健太郎後援会では、朝日健太郎の政治活動にご理解とご協力いただける方に入会をお願いしております。日本の明日を、朝日健太郎と共に考え、行動してみませんか？詳しくは「朝日健太郎事務所」まで、お問い合わせください。

朝日健太郎の活動をTwitter、ホームページ、Facebookで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

朝日健太郎事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館620号室  
TEL.03-6550-0620 FAX.03-6551-0620

Kentaro Asahi Profile

